Daiwa House®
大和ハウスグループ

\暮らしが変わる！/

収納読本

未来を、つなごう We Build ECO

ダイワハウス

部屋が散らかるのは、
片づけが苦手なせいだと
あきらめていませんか。

お気に入りのインテリアも、
すっきりと片づけてこそ活きてくるもの。
基本をおさえた収納計画を立てれば、
片づけやすい住まいを実現できます。
スペースを確保するだけでなく、
立体的に活用する収納へ。
ものを出し入れするだけではなく、
家事をぐんとラクにする収納へ。
空間を使いこなす新しい考え方を取り入れて、
快適な暮らしを実現してください。

STORAGE chapter 1

部屋が片づかない原因は何でしょう?

毎日気をつけているつもりなのに、
なぜか散らかってしまう。
片づけても、片づけても追いつかない。
それは、もしかすると収納スペースの
せいかもしれません。

Why? 収納が生活習慣にそぐわない。

外から帰るとすぐに着替えたくなり、寝室に行くのが面倒でリビングに服を脱ぎ捨ててしまう…。こんな習慣がある人には、リビングに洋服の一時置き場があれば便利です。

Why? 使う人の心がけの問題も?

家の中にあるたくさんのものにそれぞれ指定席を決め、家族みんなで「使ったら元の場所に戻す」というルールを守ることも大切です。

Why? いま使っているものの置き場所がない。

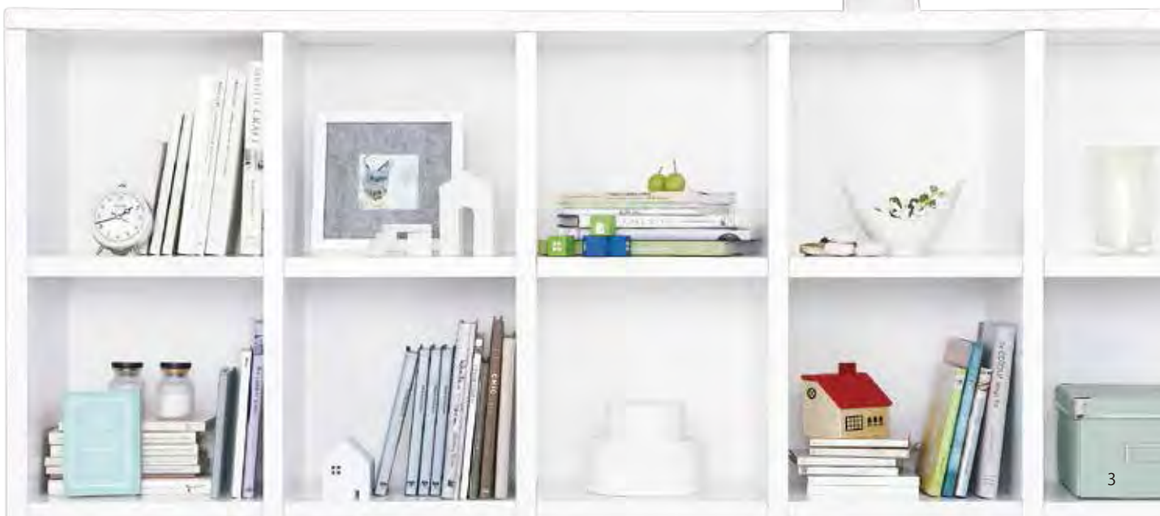
読みかけの新聞や雑誌、食べかけのお菓子、寒い時に羽織るブランケットなどは、ついテーブルやソファの上などに散らかってしまいます。とりあえずの一時置き場を用意しましょう。

Why? 普段使うものが出し入れしにくい。

頻繁に使うものを、取り出しにくい場所にしまっていませんか。出し入れしにくい収納は、ものが出しっぱなしになる可能性が大。普段使うものの収納こそ、使い勝手の良さが大切なのです。

Why? 使う場所から遠い位置に収納がある。

使う場所から遠いところにしまうと、元の場所に戻すのが億劫になり、出しっぱなしになります。収納は量や形だけでなく、設ける位置も大切。例えばリビングで本を読む人はリビングに本棚を、アイロン掛けをする人はアイロンの道具置き場を確保するといいですね。



収納がうまくいけば、暮らしはこんなに変わります。

すっきり片づけられる収納は、
インテリアを素敵に見せてくれる
だけではありません。
心にゆとりをもたらし、
生活を心地良くしてくれる効果も
大きいのです。

Change!

探しものをする
ムダな時間がなくなる！

すぐに使いたい道具が見つからなくてイライラ。「ママ、あれはどこ？」と家族に聞かれてイライラ。そんな経験はありませんか。どこに何があるかが一目でわかるようにしておくと、探しものをする時間が減らせます。

Change!

ワードローブが充実して、
コーディネート上手に
なれるかも。

洋服はたくさん持っているはずなのに、着たい服が見つからない。同じような洋服ばかり買って失敗してしまう。そんな悩みの原因は、パンパンになったクローゼットかもしれません。すっきり片づいたクローゼットなら洋服を見渡すことができ、もっとおしゃれを楽しめるようになります。

Change!

片づけなさい！と言われなくても
片づけできるように。

リビングやダイニングにおもちゃや本が出しっぱなしになってしまうのは、片づける場所がないせいかもしれません。遊ぶ場所にしまうスペースがあれば、きっとお子さんも片づけできる習慣が身につくはずです。

Change!

日々の家事が
はかどり、
時間に余裕ができます。

例えば、玄関、パントリー、キッチンが連続した間取りなら、買いもの後、玄関からキッチンに移動する間に食材をしまうことができます。他にも、家事習慣に応じた場所に掃除道具や洗濯用品をしまうことで家事効率がアップし、忙しい毎日にもゆとりが生まれます。

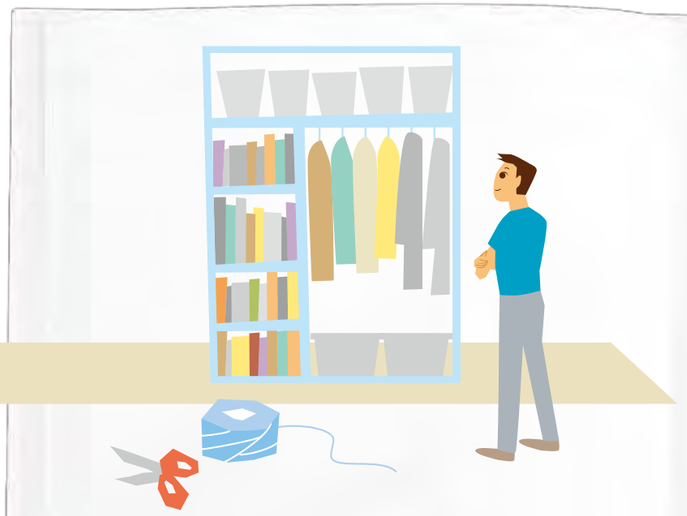
Change!

片づいた部屋で
くつろげば、心にゆとりが
生まれます。

散らかった部屋では、「整理しなくちゃ」「片づけなくちゃ」という意識がジャマをして、せっかくのリラックスタイムも心からくつろげません。きちんと片づいた部屋でくつろいでこそ、ゆとりの時間を過ごすことができます。

わが家に ぴったりの収納 をつくりましょう。

理想の収納は、暮らしと家族の数だけあります。
出し入れが簡単で見た目も美しい
部屋が片づく収納計画は、
家族のライフスタイルや
ものとの関係をじっくり考えることで
はじめて実現できるのです。



Method 収納を計画する前に、要・不要の整理を。

不要なものは持たないことが収納の第一歩。新しい住まいの収納計画を立てる前に家中にあるものを「いる」「いらない」と分類し、いらないものは人に譲ったり、リサイクルに出すなどしましょう。どちらか悩む場合はひとまず置いておき、使わないようなら処分します。

Method 将来の家族の変化に対応できる収納計画を。

家族の人数が増えたり、ライフステージが変化すると、持ちものの量は当然変わってきます。10年、20年先を考えて、余裕をもった収納計画を立てましょう。また、収納するものに合わせて棚板を動かせるようにするなど、フレキシブルに使える収納が重宝します。

Method 家事や暮らしの習慣に合わせた収納をつくりましょう。

朝の身支度や帰宅後の過ごし方、家事の段取りなどを洗い出してみましょう。家事動線や生活動線に合った収納をつくれば、片づけやすい収納計画が実現できます。

Method ものの指定席を決めましょう。

家の中にあるすべてのものに対して、収まるべき場所＝指定席を決めます。どこに何が入っているか家族みんながわかるように、ラベルを貼っておくのも一案です。

Method 思い出の品や大切なものなど捨てられないものがあるなら。

子どもの絵や工作、昔使っていた趣味の道具、代々受け継いできた家財などは、なかなか捨てることができません。そうしたものを多くお持ちの家庭なら、小屋裏などを活用した大型の収納スペースを設けてはいかがでしょうか。

Method しまうものの量やサイズに合わせ、使い勝手を高めましょう。

スムーズに出し入れできる使い勝手のいい収納をつくるには、もののサイズや形に合わせて計画することが大切。奥行きが深すぎると前後に収納することになり、奥のものがしまいっぱなしになりがち。あらかじめものの量やサイズを考えて計画しましょう。

Method デッドスペースをつくらない、最新の収納アイテムを活用しましょう。

より使いやすく、たくさんしまえるように、収納アイテムは日々進化しています。工夫を凝らした最新のアイテムを取り入れて、よりスムーズに片づく収納計画を立ててください。

リンクストレージ

まとめ

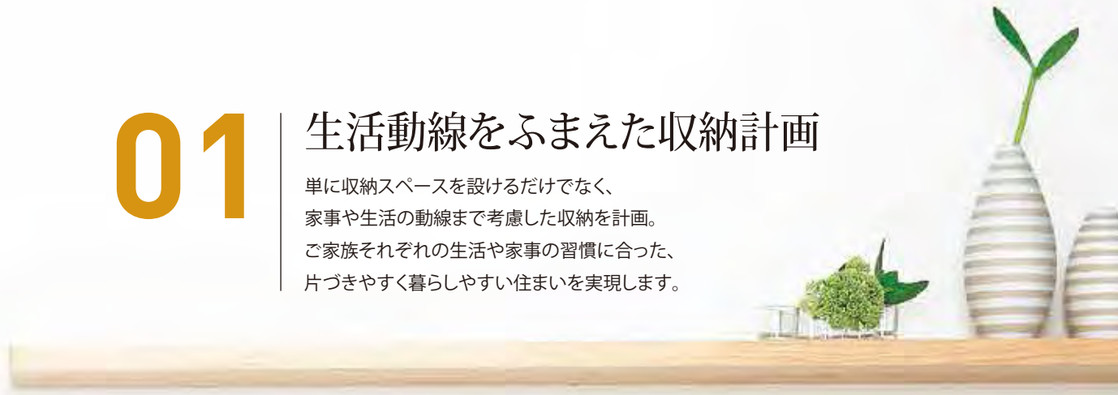
Point 1 「使う場所」に「使うもの」をしまう。
Point 2 「しまいこむ場所」ではなく、「出し入れする場所」と考える。
Point 3 暮らしの変化を見据えて可変性をもたせる。

これらをふまえ、より良い収納を考えていきましょう。

それぞれのご家族に、必要な収納を。
ダイワハウスは暮らしに合わせた
「収納計画」をご提案します。

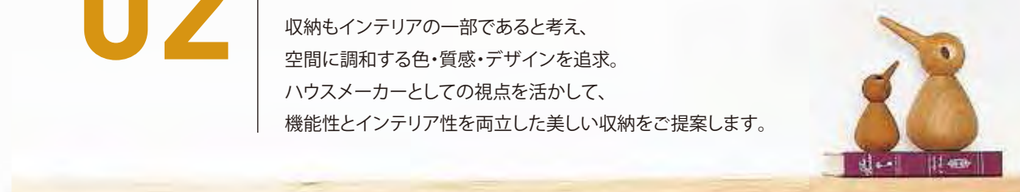
美しく片づいた空間をかなえるには、ご家族に合わせた収納が欠かせません。
大切なのは収納の広さだけでなく、取り出しやすさや使い勝手も考えること。
長い目で見て、暮らしの変化に合わせていくことも必要です。
ダイワハウスはご家族のライフスタイルや持ちものの量をふまえて
一邸一邸にふさわしい収納を住まい全体でプランニングします。

ダイワハウスが提案する収納 3つの特長



01 生活動線をふまえた収納計画

単に収納スペースを設けるだけでなく、
家事や生活の動線まで考慮した収納を計画。
ご家族それぞれの生活や家事の習慣に合った、
片づきやすく暮らしやすい住まいを実現します。



02 インテリアになじむ美しさ

収納もインテリアの一部であると考え、
空間に調和する色・質感・デザインを追求。
ハウスメーカーとしての視点を活かして、
機能性とインテリア性を両立した美しい収納をご提案します。

03 ユーザーの声から生まれた使いやすさ

収納や間取り提案において、住まい手の“生の声”を活用。
ご入居後アンケート※などを通じて寄せられた、実際にお住まいになった方の
貴重なご意見を反映して、より使いやすい収納を開発しています。

※ダイワファミリー倶楽部会員さまを対象に実施

どこに？　どれだけ？　どうしよう？

みんなが片づけやすい収納計画を！

たとえば洗濯をいつするのか、帰宅後の着替えをどこでするのか、など
生活パターンを一つひとつ検証し、
暮らしのシーンをイメージしながら収納を計画していきましょう。
そうすることで、家族みんなが片づけやすい、快適で豊かな住まいになります。
ここからは、各部位ごとの収納計画のポイントと多彩な収納アイデアをご紹介していきます。

サニタリー P.24

リフレッシュの場こそ、毎日きれいを実感したい

洗面所、浴室、トイレなどは、いつも清潔にしておきたい場所。洗面所には家事動線を短縮する工夫を。

玄　関 P.12

いつもきれいに整えておきたい“住まいの顔”

靴やカサだけでなく、外で使うものもまとめて収納すればすっきり。お客さまを美しい空間でお迎えできます。

キッチン・ダイニング P.20

収納密度ナンバーワン、わが家のコックピット

食品から電化製品まで、大小さまざまなものがひしめく場所。使用頻度、作業手順に合わせて収納を計画しましょう。

リビング P.16

家族が集まる場所には、ものも集まってくる

リビング付近に収納スペースを設けて家族で共有し、ものを管理できるようにするのがオススメ。

和　室 P.26

日常生活に活用したい便利空間

客間として使うだけでなく、着替えや趣味の場などさまざまに活用したい和室。空間をさらに使いこなすための収納計画を。

1F

子ども部屋 P.32

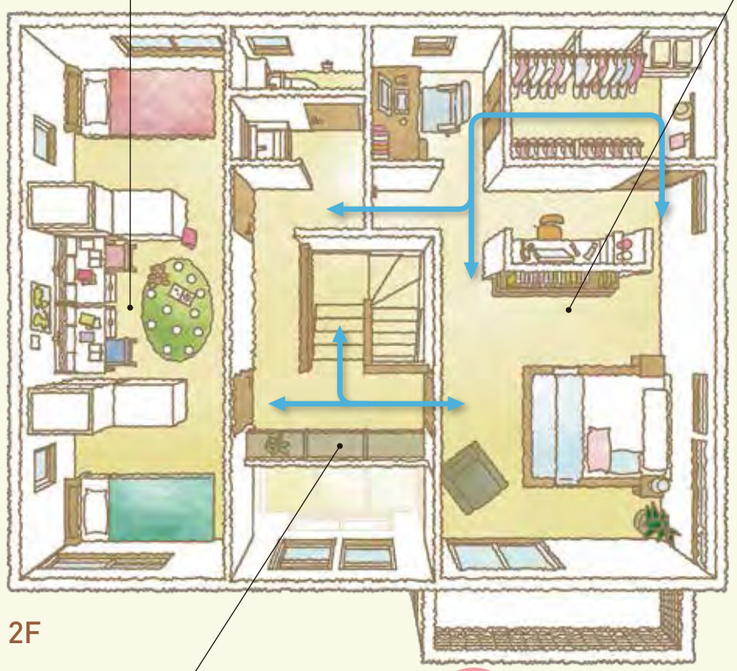
年代によって持ちものが変わる

子どもの持ちものは成長とともにどんどん変化します。変化に合わせて変えていける収納、子ども自身が片づけやすい収納を目指しましょう。

寝　室 P.28

ついつい増えてしまう衣類の管理が重要

季節ごとに増える衣類の収納は悩みのタネ。出し入れしやすく、手持ちの洋服が一目でわかる収納スペースをつくりましょう。



2F

ロフト収納 P.34

めったに使わない季節ものや、思い出の品をまとめて

思い出の品や家族に受け継がれてきた家宝などは、小屋裏や吹き抜け上部などのデッドスペースを活用した大型収納へ。

見せる収納 P.36

飾っておきたいコレクションや作品のために

自作の陶芸や絵画、子どもの工作作品などを飾れるディスプレイスペースがあれば、暮らしの楽しみが広がります。

← 快適な暮らしを生む動線

家事や生活の動線に配慮することで、日々の作業がスムーズになり、暮らしにゆとりが生まれます。

玄関

ENTRANCE

いつもきれいに整えておきたい“住まいの顔”

その家の第一印象を決めると言われる「玄関」。いつもきれいにしておきたいけれど、
内から外からいろんなものが集まってくるため、散らかりがちな場所でもあります。
突然お客さまが来られてもいいように、帰ってくる家族を気持ちよく迎えられるように
すっきり片づけ、花や絵を飾ってウエルカムの気持ちを伝えましょう。

靴やカサなど、玄関にしまいたいものを把握する

家族の靴の数から必要なスペースを知る

夫婦と子ども2人の家族が所有する靴の数は、平均すると約54足にものぼります。玄関の収納計画を立てる前に、まずは家族が所有する靴の数を確認しましょう。

※当社総合技術研究所調べ

意外と多いカサの数。きちんとまとめて

急な雨が降ると買ってしまうカサ。一般的な家庭では平均20〜30本も所有しています。専用の収納を確保するとともに、「増えたら処分」を心がけましょう。

※当社総合技術研究所調べ

普段着る上着などの置き場を確保

玄関脇にコートを掛けておくことでお出かけもスムーズです。花粉やホコリも家の中に持ち込まなくて済みます。

小物はまとめて引き出しへ

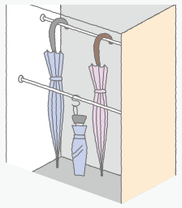
印鑑や筆記用具、靴のメンテナンス道具、自転車や車のキーなど、こまごましたものをしまう引き出しがあると便利です。

靴やカサなどを効率よく収める玄関収納を設けましょう

シューズボックス 収納例

長さ別にしまうカサ収納

手前の低いパイプには折りたたみカサを、奥の高いパイプには長いカサを収納します。



棚板を外してブーツを収納

収納場所に困りがちなロングブーツも、底板を外せばすっきりと隠せます。

※写真は約80足収納した一例です。

引き出し

スリッパ収納

収納場所に困りがちなスリッパをすっきりしまえます。

玄関をすっきりさせるデザイン

シンプルなフォルム。美しい木目を活かしたデザインです。

プラスαアイデア ベンチがあればブーツも脱ぎ履きしやすく

シューズボックスの一部に引き出し式のスライドベンチをつけることも可能。座って安定した姿勢で靴を脱ぎ履きしたり、子どもを座らせて靴を履かせたり、誰もが活用できます。

部屋の中に持ち込みたくないものは玄関にしまう

屋外で使うもの、汚れのついたものなどをしまう場所が玄関にあるととても便利。ゴルフバッグ、ベビーカー、スノーボードなど持ちものに応じて計画しましょう。シューズボックスにしまいきれない靴やカサも収納できます。

外で使うもの、こんなにいろいろ

■ お出かけ用品

■ アウトドア用品

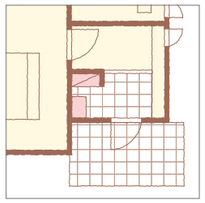
■ 子どものおもちゃ

防災用品もしまっておくと便利

■ ペットのお散歩グッズ

玄関脇にわずかなスペースでも収納を確保

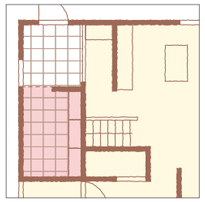
玄関の横に設けたプラスアルファの収納スペースは、土間になっているので、外で使うものも汚れを気にせず収納できます。



しまうものに合わせてスペースを調節

中2階の下を有効利用して土間収納をつくる

空間を上手に使い分けて収納を確保。天井の低い空間ですが、棚やハンガーパイプの活用で効率よく収納できます。



子どもの外遊び道具をしまうのにぴったり

プランニング

玄関の動線を2つに分ける

CASE STUDY HOUSE

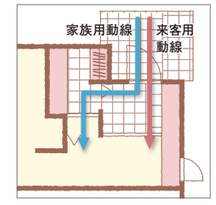
玄関をお客さま用と家族専用で分け、家族側に収納をまとめてしまう方法があります。きちんと使い分ければいつもお客さま用の玄関はすっきり保つことができます。

家族用玄関（写真左）

家に帰ったらベビーカー、カサ、靴などをしまいながら室内へ。通り抜けできるので、帰宅後やお出かけの動線がスムーズです。

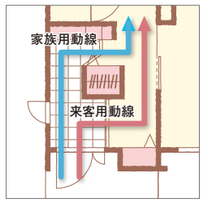
来客用玄関（写真右）

お客さまをお通しする玄関はすっきりシンプルに。絵画やオブジェなどの飾りでインテリアを演出します。



2つの動線をクランクにしてコンパクト化

家族の動線上にシューズクローク、クローゼットを設けます。お客さまの動線上にも物入をつくります。



来客用玄関

家族は直進し、奥から出入り。お客さまは右に折れて室内へ。

正面の壁に外壁を張り、照明を当てる演出を

家族用玄関

頻繁に外に持ち出すものは、玄関の近くに収納。

プラスアイデア 玄関脇のおもてなし洗面

訪れたお客さまはもちろん、外から帰ってきた家族も手を洗ってから室内へ。うがい、手洗いの習慣が身につきます。

おしゃれなボウルやアクセントタイルでおもてなし

プラスアイデア 玄関に機能付き収納を設けて花粉などのお困りごとを解消

機能付き収納を用いれば、外出時の花粉を取り除く効果（静電気除去）が。毎日洗えない学生服やスーツの除菌・消臭効果なども期待できます。

※詳しくは専用カタログをご覧ください。

プラズマクラスター技術搭載
マルチシステム収納

CASE STUDY HOUSE ケーススタディハウス（展示場）でご提案している考え方です。

リビング

LIVING ROOM

家族が集まる場所には、ものも集まってくる

新聞や雑誌を読んだり、アイロン掛けなどの家事をしたり、子ども達がおもちゃで遊んだり。
それぞれ仕事や勉強をすることもあれば、みんなで一緒にテレビやDVDを見ることもある。
家族が一番長い時間を過ごすリビングは、たくさんのものが持ち込まれるため、散らかりがち。
リビングにあふれるものをきちんと片づけるには、家族で共有できる収納がオススメです。

リビングでの過ごし方から収納を考える

家族はいつも、リビングでどんなことをして過ごしていますか。朝から夜まで、誰がどう使っているかをすべて洗い出して、その時使うものの置き場をリビング内やリビングの近くに設けておきましょう。

散らかりがちな家族共有の小物はカゴにまとめて

ハサミや耳かき、爪切り、体温計など家族で頻繁に使う小物は、使いたい時に限って所在がわからなくなりがち。小物専用のカゴや棚などを設け、1か所にまとめておくと便利です。

個人ボックスを使って各自が整理整頓の習慣をつけましょう

お財布や車のキーなど家族それぞれの持ちものは専用のボックスを設け、自分で管理するというルールをつくりましょう。

新聞や雑誌を捨てるまでの場所を確保

古新聞やチラシ、雑誌はどんどんたまっていきます。仮置き場を設けて、読み終わったらそこにまとめておきましょう。

リビングで使うものの定位置を確保

アイロン掛けや手芸の道具、肌寒い時に掛けるブランケットなどはリビングで使うことが多いもの。別の場所にしまうと戻すのが億劫になるので、必要に応じてリビング付近の収納へ。

大切な書類関係はファイルボックスで整理する

重要書類から子どもの学校で配付されるプリント類まで、家の中には多くの書類がたまりがち。必要な時にすぐ取り出せるよう、ファイルボックスに立て、ラベルで分類しましょう。

リビングにたまりがちな書類（例）

- 保証書
- 納付書
- 公共料金の通知書
- 領収書
- 子どもの学校のプリント類
- 家電などの取扱説明書　etc.

リビングに専用の収納を設けましょう

リビング収納　収納例

手芸用品

救急箱、アイロンetc.

個人ボックス

ファイルボックス

新聞ストッカー

上着やスーツの一時置き場を設けて、帰宅後すぐ着替え

玄関から寝室ではなくリビングに向かい着替えたい家族のために、上着やスーツを一時的に掛けておける場所を確保。脱いだ上着がソファを占領することがありません。

ランドセルやおけいこバッグなどの一時置き場

大人も子どもも外から帰ったら、まずリビングに足が向かうもの。荷物の一時置き場を設けておけば、リビングの床に散乱しません。

子どものおもちゃをまとめてしまう場所をつくる

小さい子どもは自分の部屋ではなく、家族のそばで遊びたいもの。だからリビングにおもちゃを収納する場所をつくります。片づける場所がすぐ近くにあるから、お片づけが自然にできるようになります。

プラス アイデア　リビングの一角に造りつけのデスクを設けて家族で活用

家族が集まるリビングに、共用のデスクを設けませんか。家族のそばにいながら宿題をしたり本を読んだりできるスペースは、子どもにとっては格好の勉強場所になるでしょう。大人にとってもパソコンや書きものをするための便利なスペースになります。

プランニング

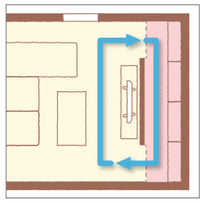
回遊動線でリビング収納はもっと便利になる

CASE STUDY HOUSE

奥に長い収納スペースだと、ものが取り出しにくく詰め込み部屋になる可能性も。出入り口を2つ設けて回遊性をもたせることによって、リビング収納の使い勝手はさらに高まります。

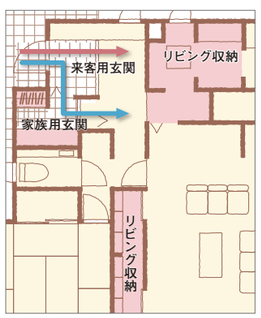
回遊できるスペースをテレビボードの後ろに設ける

テレビボードの後ろに回遊できるリビング収納を設ければ家族で共有しやすく、ものがすっきり片づいて、インテリアも引き立ちます。とっさの来客時もさっと片づけられて安心ですね。



玄関とリビングの間に設けるバックステージのような収納

帰宅後の着替えを1か所で済ませて、リビングへ通り抜けできる収納空間。ワイシャツやスーツからネクタイやハンカチなどの小物まで、すべて集めておけば身支度がとてもスムーズです。



キッチン・ダイニング

KITCHEN DINING ROOM

収納密度ナンバーワン、わが家のコックピット

日々の食事づくりと後片づけを行うキッチンは、面積の割に収納量がとても多い場所。
しかも、食品類から食器、調理器具、電化製品まで、サイズや形の異なるものがたくさんあります。
しまうものの特性や使用頻度、作業手順に合わせた収納計画を立てて、
機能的で美しいキッチン・ダイニングを目指しましょう。

作業手順や使う頻度に合わせて収納する

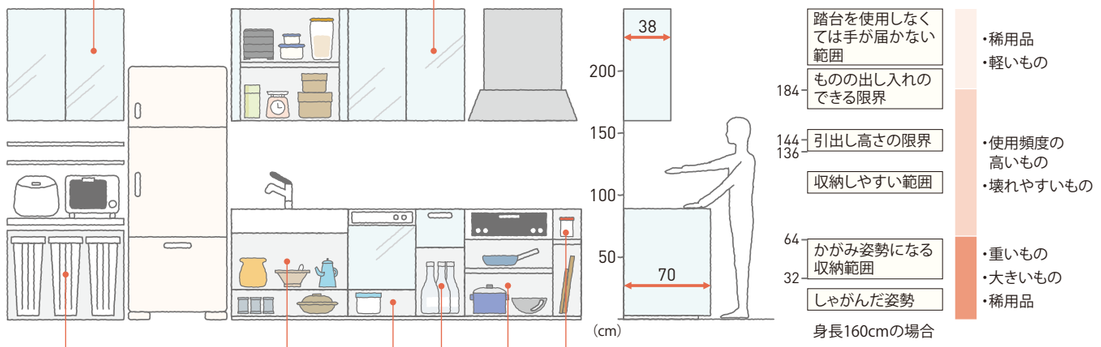
要・不要を見直すため、キッチンまわりのものをグループ化する

キッチンには種類、形、用途もさまざまなものがひしめいています。片づけを始める前にすべてのものを洗い出し、「ストック食材」「調味料」「調理器具」「食器」「雑貨類」などグループ化してみましょう。複数あるものや、不要なものは処分します。

よく使うキッチン道具は手が届きやすい位置に

ものをグループ化し、必要なものを見極めたら、次は使用頻度に応じて使いやすく配置します。よく使うものは立ったまま手を伸ばして届く範囲にしまいましょう。踏み台が必要な高い位置の収納や、体をかがめたり、手前にあるものを移動しないと取り出せない収納には、普段あまり使わないものをしまいます。

吊り戸収納
手が届く棚はよく使うもの、手が届きにくい上部の棚は客用食器などの収納にぴったり。



家電収納・ダストスペース
キッチンの美観を損ねがちなゴミ箱。あらかじめ定位置を確保しておきます。

シンク下収納
ボウルやザルなど、水まわりで使う調理道具をしまっておくと便利です。

フロア収納
ストック品や季節使いの器、卓上調理器など、頻繁に使わないものを収納します。

調理スペース下収納
上部には菜ばしやスライサーなどの調理小物、下部には保存容器などをしまいます。

コンロ下収納
鍋やフライパンなど、コンロまわりで使用する調理道具をしまいます。

コンロ横収納
調味料類はコンロ横の引き出しに入れて油汚れをガード。調理中にさっと取り出せます。

置き場に困りがちなものの収納をあらかじめ確保する

たくさんの食器があるなら

冷蔵庫とサービスカウンターでは奥行きが異なるので、デッドスペースが生まれます。冷蔵庫と奥行きを合わせたオリジナルキッチン収納で、当社従来品の約1.5倍の食器や食品がストックできます。

手持ちの食器棚や家電はスクリーンで目隠し

持ち込みの食器棚やキッチン家電類を目立たせず、キッチンに統一感をもたせたい。そんなときはスクリーンで隠してしまう方法があります。冷蔵庫やゴミ箱などを収めてしまうこともできます。

大切な情報はボードにまとめる

冷蔵庫に貼ったメモが増えると見苦しいですね。対面キッチンの袖壁などリビングから見えにくい場所にコルクボードやホワイトボードを設けましょう。大切な情報をいつでも確認できます。

袖壁収納／コルクボードタイプ

袖壁収納／ファミリーギャラリータイプ

ストック食品は一目で見渡せるパントリーへ

調味料やキッチンペーパーなどさまざまなものがストックできるパントリー（食品庫）は30cm程度の奥行きだと便利。在庫を見渡せるので、一括管理が簡単になります。

根菜は風通しの いい場所にしまう

野菜は採れた時と同じ状態で保存するのがベター。根菜類は風通しがよく、暗くて涼しいところで保存しましょう。

食品は種類別に カゴにまとめて収納

常温で保存できるレトルト食品や調味料などのストックは、種類別に分類しカゴに入れてしまいます。

ごちゃつきがちな ダイニングにも収納を

家計簿をつけたりお茶を飲んだり。子どもがお絵描きしたり、宿題をしたり。それらの道具が食事時にもテーブルに散らかって困ることはありませんか。あらかじめダイニングまわりにも収納スペースを確保しておくと便利です。

対面キッチンのカウンターに収納機能をもたせて

ダイニングまわりで使うことが多いティッシュの箱、文具類、ティーセット、辞書や家計簿、カセットコンロ、掃除道具など、置き場所に困るものを引き出しに収納。キッチン側の手元を隠し、すっきり見せられるのもうれしいポイントです。

スマートビューカウンター

上段

中段

下段

プラスアイデア ユーティリティを設けて効率よく家事をこなす

キッチンの近くにユーティリティ（家事コーナー）があれば、パソコンでメールやレシピをチェックしたり、雑誌を開いたりと、空き時間を有効に活用できます。ちょっとしたデスクとチェアを置くだけでも便利に使えます。

サニタリー

SANITARY

リフレッシュの場こそ、毎日きれいを実感したい

サニタリーとは洗面所、浴室、トイレなどを指す言葉で、「衛生的な」という意味です。
汚れを洗い流してきれいにするための場所だからこそ、いつも清潔にしておきたいですね。
とくに洗面室には細々とした日用品が多く、使用中のものとストック品とが混在します。
日常的に使うものは取り出しやすく、ストック品はすっきり隠して収納しましょう。

出しっぱなしになりがちなものをきちんと収める

頻繁に使うヘアケア用品や化粧品、タオルや足拭きマット、ランドリーバッグや脱衣カゴ、着替えの下着類などなど…。洗面室には収納しにくく、出しっぱなしになりがちなものがたくさん。それらの定位置をあらかじめ決めておくことで、清潔できちんと片付いたサニタリー空間が実現できます。

+α アイデア ヘルスメーターの置き場をつくる

定期的に体重を測りたいけれど、ヘルスメーターは場所をとるしジャマになる。そこで、洗面化粧台の下など出し入れしやすい収納場所を確保します。

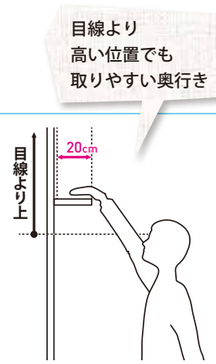
わずかな奥行きを利用して細々したものをすっきり収納

EASY CLOAK

手が届きにくい高さはカゴにまとめて収納

細々したものにぴったりの奥行き

スペースが限られる洗面室には、奥行き20cm程度の収納棚が便利。ヘア用品などの細々したものがぴったり収まります。



しまいごこちイージークローク

朝晩使う化粧品などは手が届きやすい場所に

化粧品や入浴剤など頻繁に使うものの収納は、扉をつけず、手に取りやすい位置に設けます。

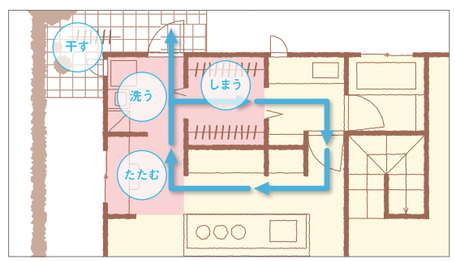
引っ掛け収納

バスケットやランドリーバッグを吊るして収納。

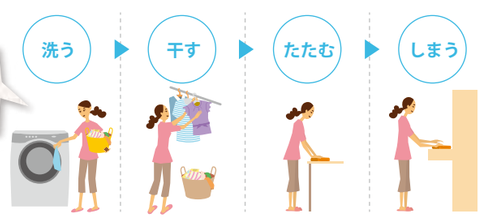
床の掃除がしやすい

プランニング 家事動線を短縮する効率のいいレイアウト

キッチンの隣に洗面室とユーティリティ、その隣にインナーテラスを設けるなど、間取りの工夫で「洗う、干す、たたむ、しまう」という一連の洗濯家事がスムーズに。雨の日や花粉の季節に重宝する部屋干しにもオススメです。



室内物干



EASY CLOAK 近藤典子さんのアイデアをダイワハウスがカタチにしたオリジナル収納システムです。

和　室

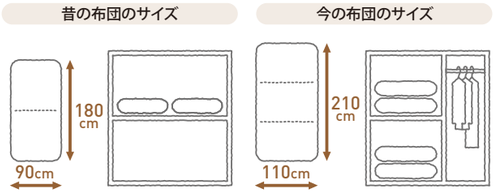
JAPANESE ROOM

日常生活に活用したい便利空間

洋風の生活をしていても、畳の感触やぬくもりにはホッとさせられるものです。
せっかく和室をつくるなら、客間として使うだけではもったいない。
子どもの遊び場や着替えの場所、趣味を楽しむ場所など、日常生活でさまざまに活用したいですね。
昔ながらの押入スタイルの他、現代の和室にふさわしい、使いこなせる収納を計画することもできます。

今の布団のサイズに合わせた収納で使いやすく

従来の押入は、昔の布団を2つ折りにして横に並べた大きさに合わせてつくられていました。最近の布団サイズは幅も長さも大きくなっているので、3つ折りにして上下に重ねて収納します。サイドの余ったスペースは、パイプを取り付けてクローゼットに。和室で着替える際や、お客さまの上着の一時預かりなどに活用できます。



＋α アイデア　和装のための専用収納をつくる

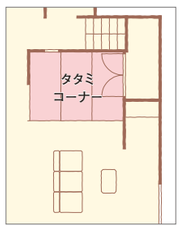
大切な着物は湿気やシワに気をつけて保管しておきたいもの。和室の収納内に、着物や和装小物をまとめてしまえる引き出しを取り付けましょう。

クローゼットも併設して多目的に活用！

和室収納 収納例

プランニング　さまざまな暮らしのシーンに対応できるタタミコーナー

リビングなど家族の目が届きやすい場所にタタミコーナーがあれば、多目的に使えます。洗濯物たたみやアイロン掛けなどの家事はもちろん、小さい子どものお昼寝や部屋遊びにもぴったり。お昼寝用ブランケットなどをしまう収納も設けましょう。



＋α アイデア　タタミコーナーの高さを活かした収納スペース

リビングの一角などにタタミコーナーをつくる場合、約38cmフロアを高くして、収納スペースとして活用することもできます。

リビング・ダイニングに合わせてモダンなコーディネートにしたり、落ち着いた和の空間としたり、さまざまなアレンジが可能です

寝　室

BED ROOM

ついつい増えてしまう衣類の管理が重要

住まいの中で特に片づかないと言われているのが衣類です。
シーズンごとに増え続ける衣類の収納に頭を悩ませていませんか。
クローゼットの中を出し入れしやすい状態にしておけば、手持ちの洋服の量や種類が一目瞭然。
洗濯後のしまい方まで想定して、衣類の収納がラクになる収納スペースをつくりましょう。

衣類の収納は「たたむ」より「掛ける」がラク

「たたむ」より「掛ける」方が、出し入れするのも衣類を管理するのもラクです。天井の高さを有効に使ってパイプを2段設けると、約2倍の衣類を掛けることができます。

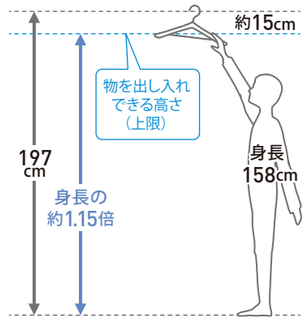
衣類や小物をすっきり収納

クローゼット　収納例

パイプの高さは使う人の身長を基準にして決める

手を伸ばしてギリギリ届く高さにパイプを設定し、下段にもう1本パイプを設けることで、自分の身長に合った下部の空間利用ができます。

女性の平均身長（158cm）の場合、パイプの高さは約2m



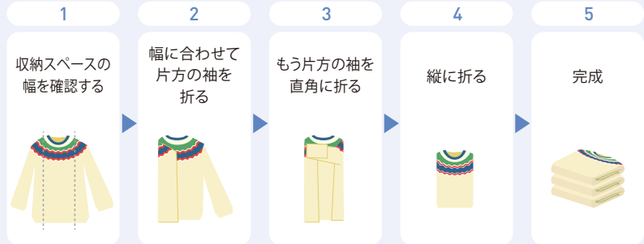
※日本建築学会「建築設計資料集成」を参照し、目安を表示しています。

パジャマや部屋着入れのカゴを

パジャマや部屋着がベッドの上に置かれているのは見苦しいですね。カゴに入れておけば、片づけも簡単です。

衣類のたたみ方のポイント

セーターやTシャツ、トレーナーなどをハンガーに掛けたまま長時間置くと、重みで伸びてしまい、型崩れの原因になります。収納スペースに合わせ、なるべく平らになるようにたたみましょう。



ウォークインクローゼットは ものの出し入れのしやすさを考えて計画

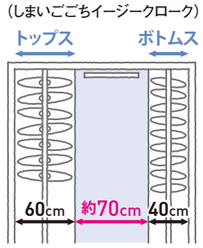
洋服だけでなく、シーズンオフの布団をしまったり、手持ちのタンスを入れたり、ウォークインクローゼットの使い方は人それぞれ。何をどれだけ収納したいのか、あらかじめリストアップして計画しましょう。

衣類の交通整理をすると 通路幅は約70cmとれる

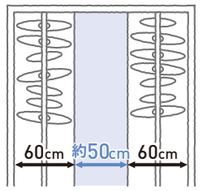
EASY CLOAK

ウォークインクローゼットの通路幅が約50cmだと、スムーズに移動するには少し窮屈です。そこで、上着エリア（約60cm）とボトムスエリア（約40cm）を対面に分けることで、中央の通路幅を約70cm確保。移動がラクになるほか、どこに何があるのかわかりやすくなります。

衣類の幅を整理した場合
（しまいごこちイージークローク）

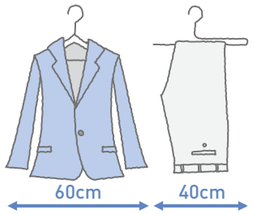


衣類の幅を整理していない場合



■ ハンガーに掛けた衣類のサイズ

トップス（ジャケットやシャツなど）は55～60cm、ボトムス（パンツやスカートなど）は約40cmの幅があれば掛けられます。

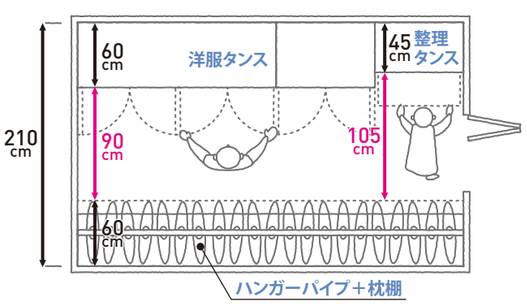


■ 人がスムーズに通れる最小の幅は60cm

大人が両手を合わせてひじを突き出したとき、その横幅は約60cm。手に荷物を持った時でも、70cmの通路幅があればラクに出入りできます。

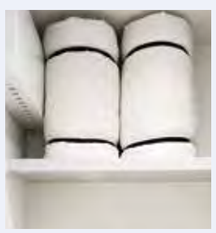
手持ちのタンスを収納するなら

タンスの引き出しや扉を開けるのに必要な通路幅を考えて計画しましょう。一般的に、洋服タンスは90cm、整理タンスは105cm程度の幅が必要です。また、入り口の近くに使用頻度の高いタンス、奥にあまり使わないタンスを置きます。



オフシーズンの掛け布団は立てて収納

布団は折りたたんで収納するものと考えがちですが、丸めてバンドで留め、立てて収納する方法も。スペースをとらずにしまえます。



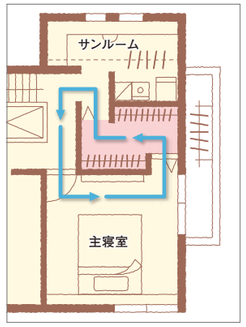
ウォークインクローゼットに窓は必要？

通常ウォークインクローゼットに窓はつけませんが、換気などの必要によって設ける場合もあります。窓を設ける場合、紫外線によって洋服が色褪せないよう注意しましょう。

プランニング 通り抜けできてさらに便利な ウォークスルークローゼット

ウォークスルーで 着替え動線がスムーズに

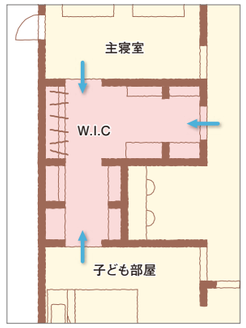
ウォークインクローゼットの出入り口を主寝室側と廊下側の2か所に設けると、朝晩の着替え動線がスムーズに。さらに、洗濯ものを「洗う」「干す」「たたむ」「アイロンを掛ける」などの家事を隣のサンルームに集約することで、時短につながります。



家族で使える ファミリークローゼットとして

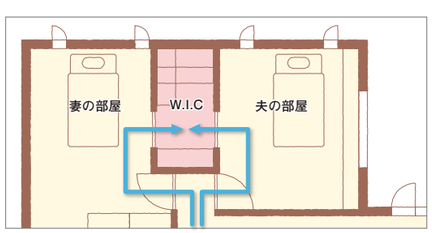
CASE STUDY HOUSE

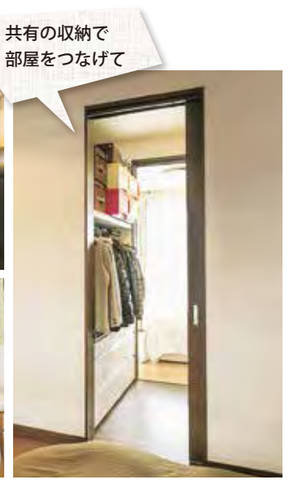
2階に大きめのウォークスルークローゼットを設け、主寝室、子ども部屋、廊下などから直接アクセスできるようにつなげます。家族の共有の持ちものを1か所で管理でき、とても便利。それぞれの個室にクローゼットを設ける必要がないので、スペースの節約にもつながります。



夫婦別寝室の間に設けて

お互いのプライバシーを尊重して妻と夫の寝室を別々にする場合、部屋と部屋の間に共有のウォークスルークローゼットを設ける方法があります。お互いの気配を感じられるので安心です。





子ども部屋

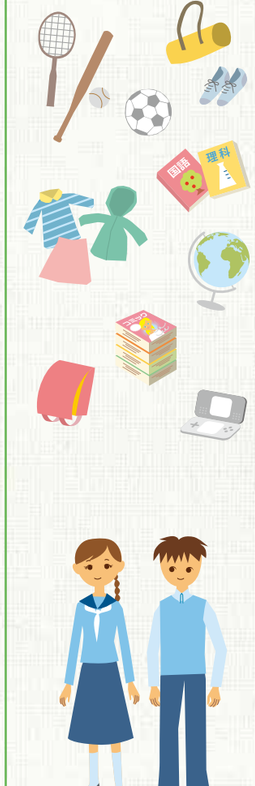
CHILD'S ROOM

年代によって持ちものが変わる

勉強、遊び、趣味、着替えなど、子どもが自由に使う部屋。必然的にいろんなものが増えていきます。
しかも幼少期から社会人になるまで、成長とともに持ちものはどんどん変化します。
子ども部屋には、そうした変化に合わせて柔軟に変えていける収納が必要です。
幼い時期から将来にわたって、子ども自身が片づけやすい収納を計画しましょう。

幼少期

小・中学生

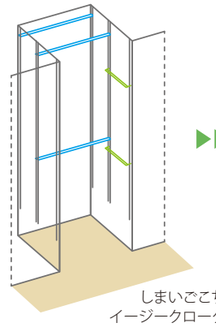


高・大学生〜社会人

成長に合わせて いつでも使いやすい収納をつくる工夫

子どもの持ちものの変化に合わせた可動式の収納

EASY CLOAK



しまいごこち
イージークローク

棚板やパイプを自由に組み合わせてカスタマイズできる収納システム。

小学生の場合

子どもでも手の届く高さに衣類を収納。

中学生の場合

衣類が増えたらパイプを3段使いに。

社会人の場合

最上部には棚板を追加し、普段使わない持ちものをしまいます。

プランニング

間仕切りになる収納を使って、空間をチェンジ

可動間仕切収納を使えば、簡単に移動でき、ライフスタイルに合わせた間取り変更が可能です。

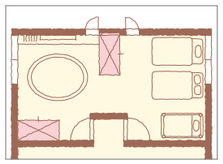
可動間仕切収納「リンクストレージ」

子どもの絵画作品など、思い出は写真でコンパクトに残す

増え続ける思い出の品や、学校から持ち帰った絵画、工作作品などを、写真に撮っておきましょう。場所をとらずに思い出を残すアイデアです。

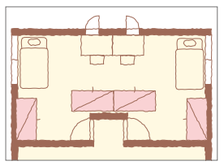
幼少期

幼いうちは2つの部屋の区切りを設けず、親子で寝るスペースと子どもが遊ぶスペースにゆるやかに分けます。



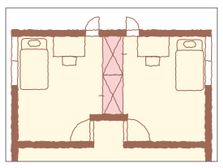
小・中学生

勉強する時は並び、寝る時は別々に。間仕切りを低くしてのびのび開放的に空間を使います。



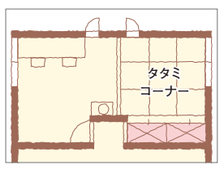
高・大学生〜社会人

別々の個室が必要になったら、2段積みにした間仕切収納で部屋間を分けて、完全に独立させます。



子どもが巣立った後

子どもの帰省時の部屋やゲストルーム、ご夫妻の趣味の部屋などに。広い空間を自由に活用できます。



リンクストレージ2段積み
リンクストレージ1段積み

ロフト収納

めったに使わない季節ものや、思い出の品をまとめて

思い出の品や何代も前から家族に受け継がれてきたものなどは大切にしておきたいもの。
また、年に1、2回使う程度のイベント用品などは、使用頻度の割に場所をとりがちです。
こうした収納物をまとめてしまっておくための場所があると心強いですね。
小屋裏や吹き抜け上部などのデッドスペースを活用して、大型収納を確保しておきましょう。

場所をとる季節ものはロフトへ

メガロフト

頻繁に出し入れする必要がないものは、小屋裏などのデッドスペースを活用した大型収納にしまいましょう。ダイワハウスでは、小屋裏を最大限に活かした天井高1.4mのロフトをつくることができます。

収納を兼ねた階段で昇り降りを安全に

ロフトへの昇降は一般的な折りたたみハシゴではなく、階段を使います。踏み面が広いので、荷物を持ったままでも安全に昇り降りでき、側面には収納スペースがついています。

ストックステップ

プランニング

吹き抜けの上に収納をプラスして空間活用

リビングなどの吹き抜けの上部に収納をつくる方法があります。2.5階にあたる高さに床を設けることで、吹き抜けの採光や開放感を損なうことなく「2階に納戸をもう一部屋」を実現。2階ホールの共用収納や、子ども部屋のロフト収納をつくれます。

ワンモアストレージ 1層タイプ

吹き抜けの上部空間を活用して、
天井高1.4mの収納スペースをつくる

リビングには通常の吹き抜けと
ほぼ変わらない明るさを確保

プラスアイデア 2階分を3つに分割して、もう一部屋の収納空間をつくる

2階分の高さを3つに分割。真ん中の層は階段踊り場などとつなげて、家族共用の収納として活用します。

ワンモアストレージ 2層タイプ

見せる収納

思い出スペース

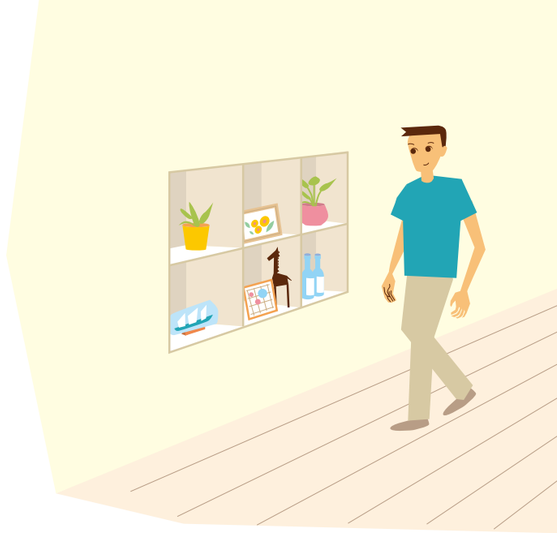
DISPLAY STORAGE

飾っておきたいコレクションや作品のために

オブジェや自作の陶芸、絵画、手芸作品などは、人の目を楽しませてこそ価値があるもの。
子ども達も、工作作品をきれいに飾ってあげれば、創作意欲がさらに湧いてくるかもしれません。
季節ごとに花や観葉植物をアレンジして飾ったり、家族の思い出の写真を並べたりするのもいいですね。
住まいの中のちょっとしたディスプレイスペースが暮らしの楽しみを大きくふくらませてくれます。

家族の通り道に「見せる収納」をつくる

階段の踊り場や2階のホールの壁面などは、見せる収納をつくるのにぴったりの場所。家族が毎日行き来する場所なので、効果的に展示できます。また、ちょっとした壁面にニッチを設け、ダウンライトで照らすだけでも立派なディスプレイスペースになります。



階段踊り場をほっと一息つく場所に

壁面に飾り棚を設けてソファを置けば、階段踊り場が居心地のいい居場所に。1階と2階をつなぐ、とっておきの空間を演出するアイデアです。

美しい酒瓶を目で味わうコレクション棚

眺めても楽しいお酒のコレクションなどは、棚にしまい込まずオープンにディスプレイするのも一案です。グラスを傾けながら、話が弾みそう。照明を効果的に使って雰囲気を演出します。

子どもの写真や工作など成長のあゆみを展示

子どもの描いた絵や工作作品、イベントごとの写真など、思いのつまったものは廊下やホールに設けたニッチにまとめて飾りましょう。

陶芸作品や花を飾るギャラリーを玄関土間に

趣味で作った陶芸作品や育てた鉢植えなどは、玄関土間に設けたギャラリーにディスプレイ。訪れたお客さまにも、自然にお披露目することができます。

「見せる収納」で空間をゆるやかに区切る

床から天井までの「見せる収納」を設けると、空間のパーテーション効果をもたせることができます。部分的に背板のないデザインなら、両面から飾りを楽しめます。

CASE STUDY HOUSE

しまいごこちイージークローク ―進化する収納―

近藤典子さんのアイデアをダイワハウスがカタチにしたオリジナル収納システム。
暮らしに必要なのは、とことん“EASY”な収納だったんです！

アメニティアドバイザー 近藤 典子 さん

アメニティアドバイザーとして2,000軒以上のお宅の暮らしの悩みを解決し、その経験から生み出された暮らしのアイデア、創意工夫が幅広い世代から支持されている。

3つの使（つかう）で、こんなに“EASY”！

モノがどんどん増えてしまい、もうこれ以上入りきらない…

使いきる

これまで、使いこなせなかったスペースを**最大限使い切るシステムで収納量アップ！**
固定された棚板やパイプでは、収まりきらないとあきらめていたモノも空間を有効に使えるシステムに。

詰め込み過ぎてどこに何があるのか分からない…

使いこなす

しまうモノのサイズやカタチに合わせて、**使い勝手まで考えられている**から、「見つからない」「出し入れしにくい」というストレスから解放！持ちモノの「管理」も「出し入れ」もグッとEASY！

子どもが成長すると、しまうモノがどんどん変わっていくわ…

使いつづける

生涯ずっと「使い続ける」収納であって欲しい。子どもの成長やライフステージの変化に合わせて、棚板やパイプを入替えたり、追加するだけで、我が家にあった**収納のカスタマイズ**が驚くほどEASY！

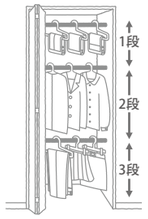
基本の４WAY

ダボレールが8本固定のシンプルな空間。棚板・パイプを付け替えるだけで色々な用途に対応！

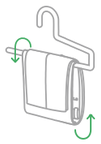
クローゼット

衣類は“畳む”より“掛ける”方 が管理が断然ラク。天井いっぱいまでスペースを使い切れば、半間でも充分収まるんです。

縦に取りつけたダボレール8本に棚板・パイプをプラスして、お好みの収納をつくれます



天井高さを活かす

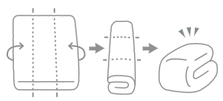


ズボンをコンパクトに収納！

押入

押入の新提案！固定概念に捕われず、布団も“立てて収納”＋“たたみ方の工夫”で半間でもきちんと収まるんです。

布団の畳み方 掛け布団は3つ折り

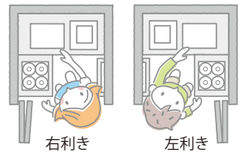


敷き布団は立てて収納

物入（L字型）

どこに何があるのか、一目瞭然のL 字型収納。出し入れのしやすさが◎だから、ふだん使いの収納にぴったりです。

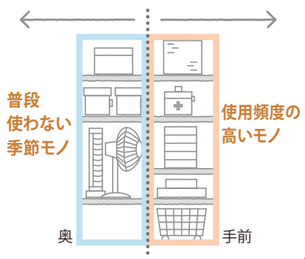
利き手による使い分け



利き手でモノがしっかり押さえられるよう、利き手の反対側に棚板を配置

物入（前後棚）

よく使うモノは「手前」季節モノなら「奥」。前後のしまい分けで、シンプルなカタチだけど大活躍！



特許出願中

その他ユニットプラン ※この他にも商品のご用意がございます。

玄関

1.5P×2P

1P×1P

ウォークインクローゼット

2P×3P

2P×3P

クローゼット

1P×2P

1P×1.5P

階段下収納

L字型

押入

1P×2P

サニタリー

1P×227/300mm

1Pとは？ 1P＝910mm
1P×2Pは畳1帖分のスペースに相当します。

■ 部材は必要に応じていつでも購入できます。
ダイワハウスのオーナーさま専用のインターネットサービス「ダイワファミリークラブ」で各種追加部材をご注文いただけます。

ケーススタディハウス

ケーススタディハウスとは、住宅メーカーとして長年培ってきた
ダイワハウスの住まいづくりのノウハウに、
アメニティアドバイザー近藤典子さんのアイデアをカタチにした新しい展示場です。
「暮らしごこち」のいい住まいを体感できる「ケーススタディハウス」のキーワードは、等身大。
従来の展示場にある実現不可能な広さと間取りではなく、
できるだけリアルなサイズと間取りをご提案しています。

近藤典子さんが考える、暮らしごこちよさを実現する「3つの“間”」

1.ここちいい空“間”
（場所の在り方）
スペースの有効利用と
暮らしに合わせた可変性の提案。

2.ここちいい時“間”
（時間の過ごし方）
使う人の目線で考えられた
効率的な生活動線の提案。

3.ここちいい人“間”
（人との接し方）
家族のコミュニケーションと
プライバシーを考えた間取りの提案。

ケーススタディハウス神戸

〒650-0044　兵庫県神戸市中央区東川崎町1−1−3
神戸駅前住宅公園展示場内
TEL 0120-117-562

「母屋」と「離れ」のある暮らし。

通り庭をはさんで「母屋」的空間と「離れ」的空間で構成された間取り。限られた敷地内で、程よい距離感を保つことができます。また、「1つで2つ、2つで1つ」をキーワードにした、ガレージと中庭、リビングとタタミスペースなど、何通りにも使い分けられる空間づかいを提案しています。

ケーススタディハウス横浜

〒224-0001 神奈川県横浜市都筑区中川1丁目4-1
ハウスクエア横浜内
TEL 045-910-1717

暮らしの変化を楽しむ「6つの扉」の提案。

都心での暮らしごこちをテーマに、人の集い方を楽しむ家を提案。その中でキーワードとなるのが「扉」です。6つの扉がフレキシブルに変化し、パーティにも対応する玄関まわり、暮らしのバックヤードとなるユーティリティ、リビングにゆとりを生むくつろぎ空間や多機能な主寝室など、新しい住まいの形を実現します。

ケーススタディハウス名古屋

〒470-0132　愛知県日進市梅森町西田面15
ナゴヤハウジングセンター 日進梅森会場内
TEL 052-805-8471

キーワードは「収める」。

家族や自分に大切なもの、つまり物質的なものだけでなく、ともに過ごす中での時間や思い出、心、暮らしを収める場所こそが「家」という考え方。ものを収めるリビングクロークや和室収納の他、楽しい「時間」を収める外向きの和室やプライベート空間となるウッドデッキ、家族の心を育てるコミュニケーションシェルフなどを提案します。

WORK 01

福島県
A さま邸

収納と住空間のグッドバランス。
動線にこだわって作った暮らしごこち満点の家

量・質ともに収納スペースがとても充実したAさま邸。妻の真希子さんは展示場や雑誌で情報を集めてはアイデアをふくらませ、ダイワハウスのスタッフとともに夢を形にしていきました。

夫の高浩さんが帰ったら、きっとリビングで着替えるだろうと、着替えをすべて済ませられる空間を玄関のすぐそばに設計。シャツやスーツ、ネクタイはもちろん、ハンカチなどの小物や鞄まで含めた身支度ができると高浩さんにも大好評です。脱いだ衣服はカゴに入れておけば、洗濯の際にサッと持ち運びできます。

一続きになったキッチン、ダイニング、リビングにもさまざまな工夫が。オープンな空間だからこそものがあふれて雑然とならないよう、きめ細かな配慮があります。キッチンには造りつけ収納とデスクのあるユーティリティを設けたり、家電をすっきり隠す「家電タワー」を採用したり。その隣にはスタディコーナーがあるので、子ども達が使った本や勉強道具がダイニングにあふれません。また、リビングのテレビボードの裏側には、回遊できる収納スペースを確保。現在は子ども達のおもちゃなどを収納しています。

さらに、2階のホールにも一工夫。雨の日や花粉の季節の洗濯干しにぴったりの空間をつくりました。主寝室のウォークインクローゼットは洗面室とつながっているので、「洗う、干す、しまう」という家事動線がとてもスムーズです。

「暮らしやすい家づくりの要は収納ですね」とAさま。考え抜かれた収納計画が、将来にわたって家族の快適な毎日を支えてくれるでしょう。

［DATA］

ご家族構成 ※取材当時
夫 40歳　妻 31歳　長女 9歳　次女 7歳

■商品名
xevo E

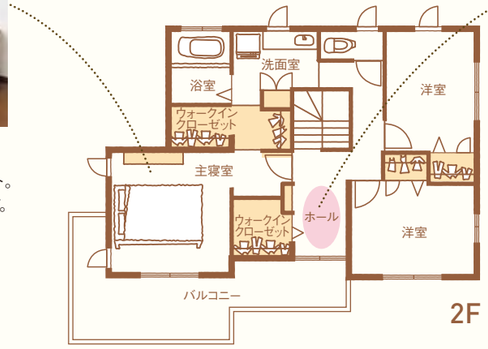
■敷地面積
332.30㎡
(100.52坪)

■床面積
1 階　92.35㎡(27.93坪)
2 階　72.33㎡(21.87坪)
合計　164.68㎡(49.81坪)

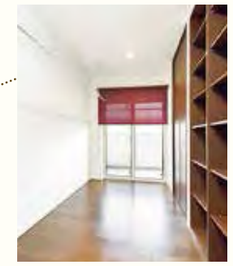
レイアウトの工夫で家事動線と生活動線をスムーズに。
計算された収納計画で、時間と心にゆとりが生まれました。

落ち着いた雰囲気の主寝室

壁面には収納スペースやデスクをレイアウト。造りつけの家具は空間を有効に活用できます。



2F

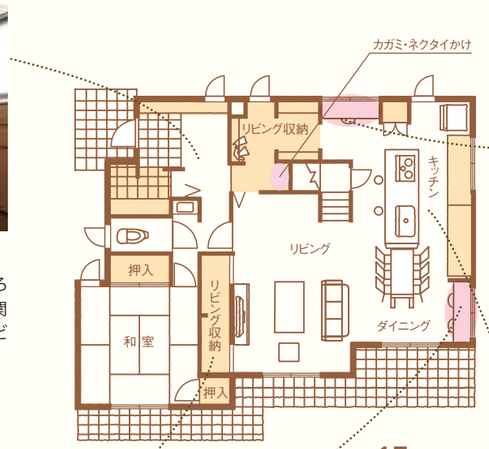


洗濯干しができるホール

バルコニーに干す前に洗濯ものをセットする時も、室内干しをする時にも便利。乾いた衣類はそのままウォークインクローゼットへ。

家族専用玄関

女の子2人が成長したら靴がもっと増えるだろうと、将来を見越して計画。家族は専用の玄関を通って室内に入れるので、普段履きの靴などが散らかりません。



1F

N

家事の合い間に使えるユーティリティ

メールをチェックしたり、書きものをしたり。お料理の合間などにちょっとした用事を済ませることができます。

リビング専用の回遊できる収納

いつもリビングをきれいに保つため、専用の収納を設けました。ゲスト用の寝室としても使う隣の和室に、リビングの生活音が響きにくい効果もあります。

家族のそばで勉強できるスタディコーナー

個室ではなくパパ・ママのそばで安心して勉強したい子ども達のために、造りつけのデスクを設けました。

使いやすさとデザイン性を両立したキッチン

普段使いの食器や客用食器、調理用具やストック食品など、たっぷりしまえる収納を確保。家電も表に出さずに、スマートな空間を演出しています。

WORK 02

神奈川県
Sさま邸

つかず離れずのいい関係。それぞれの暮らしを支える豊富かつ動線に優れた収納空間

Sさまご家族の新居は完全分離タイプの二世帯住宅。2階には夫の朝巳さんと妻の美恵子さん、2人の子ども達が暮らし、1階には朝巳さんの両親とお姉さまが生活しています。

元カメラマンであるお父さまの弘臣さんは、自他ともに認める「もの持ち」。建て替えにあたっては、弘臣さんの荷物（仕事に使っていたカメラ関連の機材、趣味のレコード・CDや洋服など）を収める収納スペースがポイントの一つになりました。また、お母さまの桂子さんのために用意されたのは、xevoCLEVA（ジーヴォクレバ）が提案するコクームスペース。ここで自分だけのくつろぎの時間を楽しんでいます。造りつけのメークカウンターには必要十分な収納スペースの他、便利な水栓も備えられ、使い勝手は申し分ないそうです。

二つの家族が集まるのは、もっぱら2階の子世帯のリビングダイニングです。人が集まるだけにものが散らかりそうだと考えたSさまは、機能性に優れたリビング収納や「スマートビューカウンター」を取り入れました。スマートビューカウンターには、キッチン側の手元をすっかり隠せるという効果もあり、美恵子さんも大満足だそう。キッチンから直接バルコニーへ、そしてバルコニーからリビングへ。家事に配慮した回遊プランニングの甲斐もあって、いつも広々と、美しく快適な居住空間が保たれています。

お互いのプライバシーを尊重することに加え、それぞれに必要な収納スペースをきちんと確保すること。それが円満な二世帯同居の秘訣であることを、Sさまご家族の暮らしぶりが教えてくれました。

［DATA］

ご家族構成 ※取材当時
《子世帯》
夫 33歳　妻 35歳　長女 5歳　長男 1歳
《親世帯》
父 69歳　母 62歳　長女 39歳

■商品名　■床面積
xevoCLEVA　1階 105.79㎡（32.00坪）
■敷地面積　2階 95.77㎡（28.97坪）
284.94㎡　合計 201.56㎡（60.97坪）
（86.19坪）

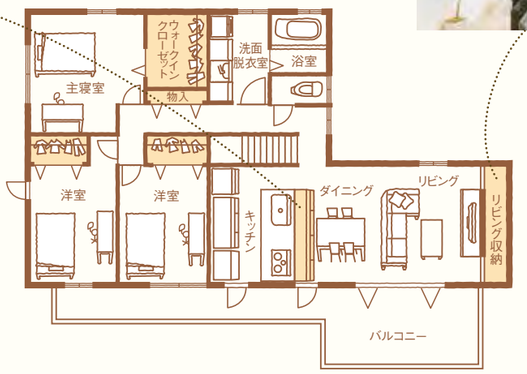
各世帯のくつろぎ空間と、豊富な収納スペース。
暮らしのシーンを描きながらデザインした機能的な間取りです。

日用品をしまえる スマートビューカウンター

対面キッチンのダイニング側に、大容量の収納を確保。子どものおもちゃや飲料水、ティッシュペーパーなど、ダイニングにあふれがちな日用品をすっきりとしまっておけます。

デザイン性にも優れた リビング収納

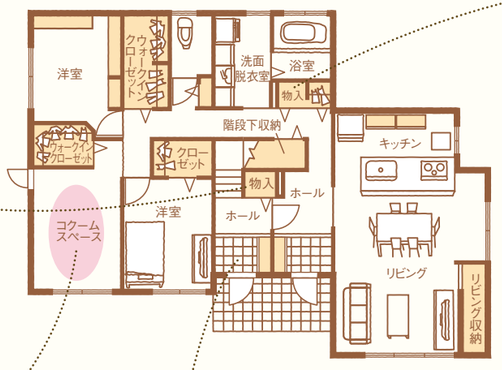
テレビボードの裏手に設けた収納スペース。半透明のスクリーンを用いているので、圧迫感がありません。



2F

子世帯専用の 物入

1階は基本的に親世帯のフロアですが、子世帯の荷物も置けるように物入を設けました。外に持ち出すものをしまっておけば、2階まで取りに行く手間がありません。



1F

趣味の部屋と 物入

弘臣さんの荷物を収納するための物入は1階の廊下に。機能性を高めるだけでなく、居室の扉とコーディネートして、調和のとれたインテリア空間を実現しました。

癒しの時を演出する コクームスペース

桂子さん専用のプライベートスペース。使い勝手のいいメークカウンターや柔らかな間接照明、白でまとめたインテリアなど、リラックスタイムのために計算された空間です。

2つの玄関

互いを尊重する生活ぶりを象徴するように、玄関のシューズボックスはそれぞれ必要な収納量と好みでセレクト。2つの玄関ホールは鍵のかかるドアでつながっています。

あなただけの収納計画を
さあ、ご一緒に。

「収納」について考えること。
それは、ものとの付き合い方を考えること。
ひいては、あなた自身がどのように暮らしたいのかを
見きわめることかもしれません。
新しく住まいをつくる時こそが、収納を考えるいい機会です。
さあ、ダイワハウスとともに探してみませんか。
収納から始まる心地いい住まいづくりをご一緒に。

日本各地の会場で、随時「収納セミナー」を開催しています。

ダイワハウスでは、
全国の展示場や分譲地などで、
体感型の「収納セミナー」を行っています。
今日から使える収納アイデアから、
住まいづくりのヒントまで、わかりやすくご紹介します。

※掲載の画像は実物と多少異なる場合があります。また一部CG合成処理を行ったものがあります。
※商品改良のため、仕様・デザインを予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

大和ハウス工業株式会社 〈戸建住宅〉

東京本社 住宅事業推進部 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112 Tel 03-5214-2172 Fax 03-5214-2176
本社 住宅事業推進部 大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241 Tel 06-6342-1300 Fax 06-6342-1593

www.daiwahouse.co.jp

商品カタログについてのお問い合わせ
0120-590-956
営業時間：9:00～21:00（年末年始 除く）

大和ハウスグループの経営のシンボルである「エンドレスハート」は、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
© Copyright 2015 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO.,LTD. All rights reserved.

We Build ECO | 森林育成紙TM使用

(A)H27.6 2,000 ①-6 B-432